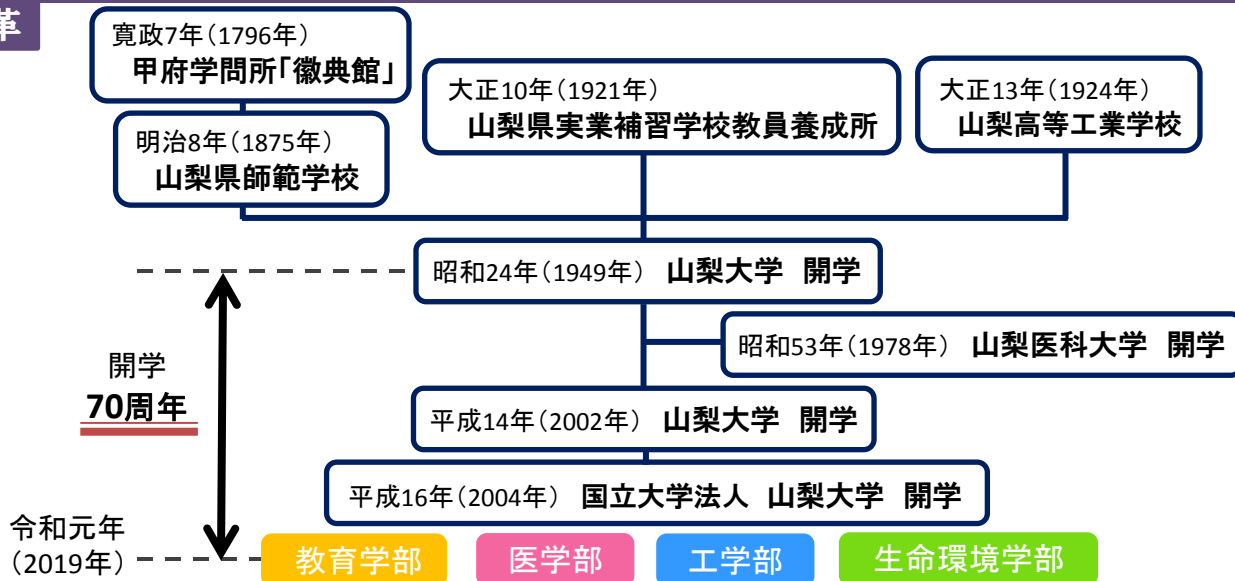


山梨大学 概要

沿革



山梨大学憲章

山梨大学は、個人の尊厳を重んじ、真理の追究と学問の自由を大切にし、多様な文化や価値観を積極的に受入れます。

また、社会の要求に応えつつ、広い知識と深い専門性を追求し、地域の中核となり、世界の平和と人類の福祉に貢献できる人材を養成する場となることを表明します。

現代世代だけでなく、未来世代の福祉と環境にも配慮した視点に基づいて、教育研究を行います。

未来世代にも
配慮した
教育研究

諸学の融合の
推進

専門領域を超えて協力し合い、諸学の柔軟な融合による新しい学問分野を創設し、さまざまな課題の解決に努めます。

国際的視野を持って、問題の発見と解決に取り組み、世界の人材が集う研究拠点を構築し、学術及び科学技術の発展に貢献します。

世界的研究
拠点の形成

国際社会で
活躍する
人材の育成

市民としての倫理性と自律性を身に付け、専門性をもって、国際社会で活躍できる人材の養成に努めます。

地域社会が抱える問題を取り上げその解決に地域と協同してあたり、得られた成果を世界に向けて発信します。

地域から
世界へ

現実社会
への還元

絶えざる
改革

自ら点検・評価を行うとともに、社会からの声を広く求め、絶えざる改革を推進します。

教育研究の成果が社会に応用され、役立つように、社会に積極的に還元することに努めます。

キャッチフレーズ

「地域の中核、世界の人材」

山梨大学は、豊かな教養と高い倫理性を持ち、広い教養と深い専門性を身につけた学生・教職員を育むことにより、知と技術における「地域の中核」となると同時に世界の平和と人類の福祉に貢献できる「世界の人材」を養成することを目標としています。

シンボルマーク

たわわに実った葡萄の房が輝く太陽の光に照らされているところを立体的にデザインしました。繋がった円は、「学問の融合」と、本学が育んだ教育・研究の情報が地域さらには世界に向けて発信され、再び本学に戻ってくるという「循環的な相互関係」を、そして独立した円は、輝く太陽と新しい山梨大学が希求する理念を表現しています。葡萄は、古くから生命や知識、そして文化のシンボルとして知られています。太陽の光があたった葡萄は、山梨大学がますます国際社会に貢献していく理想像も重ね合わせています。

このシンボルマークは今後、学章として扱います。

